

A 全世帯の5%、400件が申請すると見込んで設計している。

Q 申請が多かつたらどうなるのか。

A 申請順に補助を行うが、予算消化の最終で、複数の申請があった場合のみ抽選と考えている。

Q 最後の抽選になった場合、事業の趣旨がおかしくなりはしないか。周知PRは、しっかりと、行ってほしい。

A そのようなことを防止するため、しっかりと広報PRを行う。

【厚生文教常任委員会での質疑】

Q 省エネの買換えは、どんなものが対象の機器か。詳しく説明を。

A 補助の対象機器は、三つ、エアコン、冷蔵庫、テレビとなっている。補助対象は、全てではなく、省エネルギー基準達成率が100%以上のものとなる。緑色のラベルのほうに省エネの基準の達成率というのが記載してあるので、それを基に確認していただければ100%かどうかというのとは分かるようになっていて、買換えになるので、今持っている物を処分され、新しいものを購入された場合、その新しいものが基準を超えていれば補助金が出るという制度になっている。

Q リサイクル券をもらわないといけないのか。

A 今回、エアコン・冷蔵庫・テレビが家電リサイクル法の対象となり、処分する際、八女西部とかに持って行っても処分してもらえず、リサイクル券を購入していただいで処分することになる。処分をするときに、リサイクル券というのが必ず付いてくるので、その写しを添付していただくことにしている。

●医療施設に対する物価高騰対策支援事業

【住民課】

物価高騰の影響を受けている医療機関に対して光熱費や食材費などの上昇部分を補助する。県の支援対象外である公立八女総合病院企業団へは構成市町が支援する。広川町は153万2千円を負担する。

●出産・子育て応援交付金事業

【子ども課】

妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、国が経済的支援（計10万円）を行う。これに乗せして町独自で出生届から乳児家庭全戸訪問までの間に広川町子どもサポート給付金5万円を給付する。

Q 町独自の上乗せ分5万円はもつと、例えば10万とか出しても良いのではないか。

A 金額の妥当性については近隣市町と同額であり妥当と考えている。

Q 上乗せ給付は、期間的には出生届が出たら届けるということか。

A 出生届後、訪問をし申請を受け付け給付する。

●保育所等物価高騰対策支援事業

【子ども課】

保育所の光熱費高騰分を補助する。17万4千円を増額。

●児童福祉総務費、放課後児童健全育成事業費

【子ども課】

町内学童保育所の指導員の処遇改善に図るため、118万8千円を増額、委託事業者へ補助する。

【厚生文教常任委員会での質疑】

Q 保育園の待機児童は今何人ぐらいで、来年の4月からのゼロ歳児は全員入られる体制になっているか。

A 保育園の令和4年度の待機児童数についてはゼロである。今育児休暇を取得されている方の申し込みは、20名ほどいる。

Q 保育園の先生の確保が難しい状況と思うが、保育園に町から支援策を考えているか。

A 職員の確保に向けた施策としては、町で保育士人材バンク等を県の人材バンクと情報共有を行いながら立ち上げているが、現在まだ登録がない状態で、今後周知を考えている。処遇改善については、去年の国の制度で1月より取り組んでいる。令和4年度に9月までは町助成とし